京北病院が果たす機能の在り方方針策定等に係る業務 仕 様 書

1 目的

京北病院は、京都市の総面積の4分の1を占める広大な北部山間地域である京北地域における唯一の病院として、昭和33年5月の開設以来、60余年にわたり地域住民の医療拠点としての役割を担っている。

京北病院の運営は、平成23年4月に京都市立病院とともに地方独立行政法人法に基づく京都市立病院機構へと移行し、新たに介護老人保健施設、通所リハビリ施設、居宅介護支援事業所を開設・開所するなど、地域の高齢化に伴う介護ニーズに対応した業務の多角化を行い、高齢者の医療と介護サービスの拠点として機能強化を図ってきた。

一方で、京北地域においては人口減少や高齢化が進み、京北病院においては患者数や病床稼働率の減少、建物の老朽化といった課題を抱えている。

令和5年度においては、こうした状況を踏まえ、今後京北病院が果たすべき役割や必要とされる機能・サービスについて、持続可能な在り方を検討するため、必要な調査・収集・分析を行い、今後の在り方の案を複数策定した。

令和6年度はこの結果を踏まえ、京北病院が果たす機能の在り方検討会において、様々な角度からの意見・課題を検討し、それを反映した在り方方針（案）を策定する。

2 業務内容

(1) 外部の有識者を含めた検討会の運営支援

- ア 外部の有識者を含めた検討会（4回を想定）への出席
- イ 上記検討会の資料作成

(2) 在り方方針の策定に向けた検討

- 病院機能、介護老人保健施設及び診療所の在り方等に係る調査・分析、その他検討を進めるに当たり必要な情報の調査・分析

(3) 在り方方針の策定

- 上記(1)及び(2)を踏まえ、それを反映した京北病院の機能の在り方方針（案）を策定

(4) 報告書の作成

- ア 内容
上記(1)、(2)、(3)の内容を取りまとめたもの。

イ 紙媒体

日本工業規格A4版、カラーで3部作成するものとする。

ウ 電子媒体

上記アの電子データを保存した電子媒体（CD-R等）を1部提出するものとする。

3 事業の実施期間

契約締結日から令和7年3月31日まで

4 成果物の提出

(1) 提出期限

令和7年3月31日（各報告資料は提出期限にかかわらず、完成次第提出すること。）

(2) 提出場所

京都市保健福祉局医療衛生推進室医療衛生企画課

(3) 提出物

ア 報告書

「2 業務内容」の(4)報告書の作成による

イ その他

- ・本業務に関し、受託者が出席した各種打ち合わせ等の資料
- ・その他業務に作成した資料、収集したデータ

5 留意事項

- (1) 本業務に当たっては、京北病院が果たす機能の在り方に関する本市における検討に際し、必要な事項を調査し、総合的に調査・検討を支援することをはじめ、単なる一般的な事例提供や助言にとどまらず、検討状況に応じて積極的に支援すること。
- (2) 本業務に関して、契約書及び本仕様書に明示されていない事項であっても、調査・検討・在り方方針の策定に向けた準備作業に当然に必要となる事項については、委託者の要請に応じて受託者が誠実に対応すること。
- (3) 受託者は、本調査業務により知り得た情報を第三者に漏洩してはならない。
また、関係機関等から提供を受けた資料については、管理、保管を十分な体制により行うこと。
- (4) 委託業務の実施に当たっては、事前に委託者と十分協議して調査計画書を作成し、確認を受けた後に調査を行うこと。
また、委託期間中についても進捗状況を委託者に逐次報告し、事務処理方針については委託者の指示及び承諾を受けること。
- (5) 委託業務を遂行するうえで必要となる一切の経費は、受託者が負担すること。
- (6) 本業務の実施により得られた成果物の著作権、著作権等の一切の権利は、全て委託者に

帰属する。また、委託者は、成果物等の全てについて業務に必要な範囲で改変し、又は二次利用する権利を有するものとする。

- (7) この仕様書に定めのない事項については、その都度双方協議のうえ決定し処理するものとする。